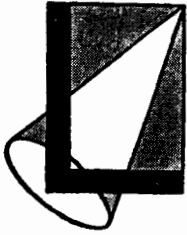


1957



会報

第 1 号

発行所 舞台照明家協会
 東京都中央区築地四の二
 電話 八五二八
 編輯人 相馬 清 恒
 遠山 雄
 福寿堂印刷所
 台東区御徒町二の七八
 電話 二七七八

発会式に於ける

会長

久保田万太郎氏 の挨拶

照明の素である電気のこととは、素人であるが、舞台にたづさわる以上、一応玄人の様な顔をして来たが、私は元来皆様に持ち上げられなければ人の上には立てない性分であるが、ここに皆様の推選により当協会の会長になれましたことを有難く思つて居ります。



舞台照明家協会発足す

【天野万助氏挨拶】

永い間、懸案になっていた、舞台照明家協会が、去る昭和三十一年十月十七日、銀座スエヒロに於て、東京及近郊に在住の照明家多数の出席のもとに、創立発足した。続いて、劇界、舞踊界の各名士及ジャーナリストの参加もあつて、華々しく発会式を行つた。

総会

午前十一時、先づ発起人代表天野万助氏の挨拶により開会す。

四十年の伝統のもとに、生活して来た。我々照明にたづさわるものとして、ここに舞台照明家協会の発会を見たことはある意味では必然的である。と見なければならぬが、我々異つた職場に働くものが同じ目的に進んで結成されたことは、誠に意義深いことである。本会が現在に至るまでには、幾多の問題があつたが、二千年にわたる発起人諸

氏の努力によつて生まれたこ
とを、ここに感謝する。

と挨拶し続いて、本会成立まで
の経過報告を次の様に説明した。

昭和二十九年十月十三日、浜離
宮芳梅亭に於て、第一回発起人会
が開かれてより、同会は計十回、
準備委員会は計五回が開かれた。

規約については

本規約案は、本年度もすでに期
間も短いことであるから、本年は
規約の審議並に改正におき、本格
的な活動は次年度に持越すと説明
された。

続いて本会成立の可否につい
ては、

入会申込者 一六五名
総会出席者 六一名
委任者 七〇名
にて、本会はここに成立した。

規約審議

規約の細事に関して、天野氏よ
り引続いて説明があり、質問な

く、本規約は成立した。

役員選出

発起人より役員案が提出され、



役員

会長
理事長
常任理事

久保田 万太郎

遠山 静雄

星野 省三

小川 昇

大庭 三郎

和田 光弘

上条 甲午

相馬 清恒

上野 虎雄

松崎 国雄

穴沢 喜美男

天野 万助

斎藤 政雄

篠木 佐夫

今井 直次

石川 鶴市

岩崎 令児

原 英一

沼田 勝夫

落合 勝造

小川 俊治

吉本 一郎

滝尾 輝雄

田中 恒雄

理事

土村 昌

山本 順三

山下 俊弘

小林 君子

青木 久一

柴山 睦郎

篠原 久

秋山 易三

前田 二郎

中本 猛雄

監事

右の様な役員案を可決、成立し
た。続いて、役員紹介があつた。

なお本協会のマークは、伊藤喜
朔氏にデザインを依頼し、近代的
な美しいものが、パッチとして、
会員全員の胸に輝いた。

又記念品として、当日参加者全
員及申込会員全員に、舞台照明家
協会の名入のある検電器兼用の
シャープペンシルが贈られた。

これは、本年度は会員相互の連絡
のために選出されたものであつ
て、近く活動的な役員の改正を行
いたいと説明があつた。

(写真は総会風景)

会報発行に
際して

篠木 佐夫

※※※※※※※※※※※※※※※※

兎も角も、永い間の懸案であつた「協会」が結成され、そして久保田会長を戴いたことを喜びたい。と同時に今後会員相互は、この協会の発展に心をいたし、演劇・舞踊に貢献する努力をおしまぬようにしましょう。

- (一) 舞台機構と照明設備の改良
- (二) 照明器具、資材の検討
- (三) 照明プランの記号の統一、優れた操作記録法の制定
- (四) 全国劇場ホールルの舞台条

件・照明設備の収集

- (一) 舞台照明用語・呼称の統一
- (二) 上演スタッフへの照明効果現象化の指示法
- (三) 上演スタッフその他からの意見
- (四) 部外者への啓発
- (五) 会員各人の勤務条件の意見交換
- (六) 会員間の互恵方法
- (七) テレビ技術の向上と改良
- (八) 会員相互の研究

(例) (イ)書籍・新聞等に掲載の照明参考記事の紹介

- (ロ) 照明プランの発表
- (ハ) 諸外国の現況の取材と交流
- (ニ) 劇の見学
- (ホ) 研究会、講習会の開催

等々……。

元来、我々は、このような会の運営には不馴れた結果、事務的処理が滞り勝ちになり勝ちである。然し、これから出来るだけお互に

是正しあつて、所期の目的である会員相互の演劇・舞踊部門内での照明の地位向上と認識を高めるために我々会員の積極的な心構えを期待します。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

協会の発展

小川 昇

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

舞台照明家協会の会員名簿を開いて見て、こんなに多くの仲間が居たのかと驚いたのは私ばかりではなかつたであらう。驚くと共に、今更驚かねばならぬ程、今までもお互の交流がなかつたことを誠に残念に思つた。でも、皆んなの同じような気持が集つて、此の協会が出来たのであるから誠に嬉しいことである。然し、協会は只今の所、只、形が出来ただけで、此れ

を如何に発展させて行くかは、此れからのことだと思ふ。協会の目的に掲げられた様なことが、必ずしも急速に実現されるとは思わない。然し、皆んなで協会を育てて行く気があれば、必ず少しづつでも実現の方向に進むことが出来ると思ふ。あまりせつかちに悩みに、だからと云つて、あまり傍観的にもならず、一人一人がいづも頭の中に協会の事を考へて居れば、色々の事で協会との結び付きが出来て、それが自然に協会の発展に役立つ事になり、会員の利益とも結びつく事になると思ふ。協会の結成に依つて私達は一つの力を得た。此の力を大きくする為めには会員の一人一人が常に協会に関心を持つ事だと思ふ。



◎最近、各所で聞く話だが、ゼラチンペーパーの色がどうもレットル番号と違う場合が、たまたまある。

例えば、同じ#45と貼つてあるものの中にも、黄味が多すぎたり、少かつたり。
それから一枚のゼラチンの一方の端と片方の端とでも、色、厚み等が不均一なものが出ています。
これは、是非メーカーに反省して欲しいことであると思ふ。(T・T)

協会の発足を祝す

丸茂富治郎

昨年の秋照明家協会の発足を得て、今又其の機関紙の発行を見るに至り、其の喜びは筆紙に表わせないものであります。

思えば大正元年帝劇が建設されて独乙シームエンスの照明設備が据付けられた時、秀様に案内されて学生だつた私等は只不思議の面持で調光器や沢山スキツチの並んでいる配電盤、舞台上に吊られていたポーターライト等うやむやに見学した事を記憶します。

それから十三年後震災後の歌舞伎座の復興の際、米国クリーゲル会社が設計して見積たのでありましたが、予算の関係でポーターと

フットライトは東京電気が、調光器と配電盤とは私の処で製作する事になつて、どうやら施行する事が出来ました。

其の後、東京劇場建設の際、各個回路に調光器を入れることの便宜と、三相四線式の中性線を設けた配線方式が、舞台配線として、最も便利のことを主張して共に採用され、東宝劇場建設に際し、多分岐式U型調光変圧器の設計を呈示して、井上技術課長の同意を得て採用され、クラウドマシヤやプランカート式幻燈装置等も製作してスポットライトや、フラッドライト等の器具類も大いに進歩して来ましたが、戦争に依る中絶と災害は製作の継続を不可能にするのではないかと迄思われしましたが、平和時代の健全娯楽の関係にある私等の仕事は、戦前より一層の興味を増すものがあつて、純アルミニウム電解研削による反射板は、照明器具の型式を変え、能率の格段の上昇を見たのであります。又プレセット式、遠方操作式の照明操作盤も大いに進歩したのであります。戦後急速に進んで来

会員消息

新入会員

- 13・11・21 伊藤 安雄 横浜市港北区北綱町一四五三
- 〃 春日 正彦 練馬区仲町三の六六
- 〃 宮本省 二 世田谷区経堂町四八五
- 〃 三島 純吉 武蔵野市吉祥寺一三二六
- 〃 吾妻 新一 北区中里町四二一
- 〃 多賀 敬二 中央区小田原町二の一
- 〃 小川 秀夫 松戸市下矢切一八
- 〃 沢田 忠博 豊島区池袋七の二一五五
- 31・12・12 相馬 清三 品川区大井森下町四〇二〇
- 〃 深沢 栄宏 足立区本木町二の一三三二
- 31・12・21 平沢 賢次郎 宇都宮市西原町二七〇六
- 〃 長谷川 武雄 文京区雑司谷町七五
- 31・12・26 荒井 敏夫 荒川区三河島六の一
- 〃 小島 良一 川口市上青木町三の九七八
- 32・2・20 荒木 誠 港区芝田村町一丁目松崎照明研内

たテレビジョンは舞台照明に新しい広大の分野を開いて色々の研究課題を授じた事は、私等にとつては若返り薬を与えられた様の気持ちさえするのであります。

斯くて照明家協会の発足は、其前途の益々明るく、そして広いものである事を信じて心から祝福し大いに悦ぶ処であります。

(筆者は丸茂電機R.K.社長)

協会に

望む

滝尾 輝雄

永い間、幾度となく、吾々が話し合つていて、仲々出来上がらなかつた協会が、先輩諸氏の努力に依つて、発足した。

発足した以上、吾々会員は、この協会を育て、発展させ、お互の

より緊密な連絡機関とならんことを望む。それには、会員諸氏の協会に対する考えを、自分とは別個のもの的な考えでなく、自分が協会の一構成分子であると云うことを強く認識して欲しい。

さて協会も昨年十月十七日スタートしてから四ヶ月を過ぎてしまった。未だ、これと云つた仕事をしていない。理事達は何をしているのだと、おしかりをうけるかもしれないが、これは協会と云うものを理事達に任せてばかりいたのでは駄目である。どしどしと会員諸氏が、意見や、文句を、ぶつつけて欲しい、それによつて理事達も、動かさるを得なくなると思う。みんなも夫々、いろんな意見をお持ちのことと思いますが、それを遠慮なく伝えて下さい。私もここに二、三やりたいこと、やらなければならぬことを並べさせていただきますと、

(1) 照明プランの、記号統一、

現在は或る程度統一されてはいますが、まだ人に依つて、使い方が、まちまちである、これは是非統一しなければなら

古屋 誠一 台東区柳橋二の六

住所変更

穴沢 喜美男 品川区上大崎一の五一

原 英一 埼玉県南埼玉郡蓮田町山ノ内 三八一六

今井 直次 世田谷区玉川等々力町一の二一の三

浅沼 貢 品川区上大崎一の五一 穴沢方

二瓶 正吉 新宿区下落合四の二一八

休会

松平 淳 (松崎照研) 病氣休養のため

退会

外川 全一 (歌舞伎座) 東横ホール松竹事務所へ転居のため

加藤 光春 (演舞場) 松竹退社

お願い

みなさんのお手元にある、会員住所録は、会員申込書に基いて編輯致しましたのですが、その申込書に住所のはつきり書いてないもの、所属の不明なもの、相違があり、一々問い合わせ、聞き合はせてまゐりましたのですが、色々不備な点が多々あると思ひます。若し住所、所属等の間違つて居るのがありますら、事務局宛御連絡下さい。次の住所録作製の参考にしたいたいです。

ない。

(2) 協会へ、各プランナーは、仕事(作品)を報告すること、これは協会として記録して置きたいから是非。いつ、どこで、何を。

(3) 全国各劇場、公会堂等の機

◎ 関西に於ける舞台照明家の協会に対する最近の動き

東京に於ける、舞台照明家協会の発足は、全国的に色々の反響を呼んだ。その一つとして、去る二月九日(土)大阪関西電気クラブに於て、バグナル株式会社越山氏の尽力により、京阪神地方の舞台照明家中

- 大阪コマ劇場 高田平太郎氏
- 梅田劇場 柳 田氏
- 大阪歌舞伎座 喜多松太郎氏
- 大阪劇場 玉田 実氏
- 大阪産経会館 熊沢 章氏
- 京都南座 成瀬 昇氏

構を集録して、会員の便を計りたい。これには、会員諸氏の知つてゐる範囲で、どしどし資料を提供して下さい。まだまだありますが、あまり一度に書きならべても大変ですから追々に出すことにします。

大阪毎日会館 小林 敏樹氏
神戸国際会館 奥田 春一氏
大阪中座 佐 竹氏
の九氏が集合し、東京を本部とし、関西を支部とするか、関西は関西として独立した形で発足するか等を協議し、結論として一応関西として、東京の規約等を参考にして独自に発足し、東京との話し合いにより統一の問題を検討する。そして三月中旬に発起人会を開く事を決めた。尚名古屋への呼び掛けは発起人会後にする事にした。

無題

相馬 清恒

我が国に舞台照明が出来て四十有数年の歳月が流れて居り、現在の照明技術迄にレベルを向上させて下された諸先輩の方々に深く敬意を表すと同時に深謝にたえません。

今までの照明家は各個人で仕事にたずさわつていて、横の連絡が少しもありませんでした。あつたとしても、昔風の師匠弟子の関係だけで、稍もすればセクト的でした。今後そうゆうことや、色んな仕事のくいちがいや、横の

関係のないために醸る不利などを正す意味で、舞台照明家協会が発足したことは私にとつて大変嬉しいことです。さて発足して、その会員数を見ますと、二百数名の多きな人数の協会です。この数字を見て、この協会の発足は遅きに失したと思つたのは私ばかりではありません。

しかし、立ちおくれはあつたとしても、今後私達のすべきことは、この協会の健全な発展に協力することです。そして一刻も早く大いなる実質のともなつた協会にすべきことが、私達に課せられた義務だと思ひます。

幸いに、日本演劇協会の御協力を得て、その事務局を演劇協会内に置くことが出来ました。只今の処事務局は出来てもそこに何時もいられる事務員がおりません。私は先ず第一に事務員を一名選出して、連絡、事務処理することが先決だと思ひます。

更にこの会報ですが、それぞれの立場での近況をどしどしお知らせ下されば多様ないい会報が出来るのではないかと思ひます。

たとへば自分のいる劇場、又仕事をした劇場の機構の説明や意見があらからでも、こちらからも出るとすればおのずから知識もふえようと云うものです。

最後に今までも色々なことで事務局の不手きわがあり御迷惑をおかけしたこともあると思ひます。この紙上をかりてお詫び申し上げます。と同時に皆さん会員全員が事務局員でもあるのですから、思いつかれたことはどしどし提出して下さい。御叱正下さるよう御願ひ申し上げます。



◎各プランナーの記号を統一せんことを望みます。

理由 例 ① ② ③ 等の件です。

各プランナーの記号ががらうので仕事、しにくいので、舞台照明家協会としては最も急を要するのではないでしようか。(里見進)

イギリス照明委員会への回答

(過去一年間に於ける照明の進歩改善)

去る日の本年度第二回理事会の席上、日本照明委員会より、吾が協会の数氏に照会のあつたアンケートが発表され、議題として提案された。

これは先頃海を隔てたイギリス照明委員会より、日本照明委員会宛に照会回答を求められた、過去一年間に於ける我が国の照明の進歩改善に関するアンケートに依りなされたものである。その内容は

- 第一部 普通写真用光源
- 第二部 映画撮影用光源
- 第三部 テレビジョン照明
- 第四部 劇場舞台照明

の四大項目より成つて居る。

右の提案に対し、理事会は種々の角度より討議の末、左の結論に達した。

一、先づアンケートは、日本

照明委員会より各個人宛に出されて居るが、その内容は、多分に舞台照明家協会の趣旨、目的に則したものであるに依り、協会として

取上げ総合一括回答する。一、回答に際しては、第三部

テレビジョン照明及び第四部劇場舞台照明の項目に關してなす。

一、又文献として海を渡るにつき、慎重を期し、小委員会を設けて検討回答する。

一、小委員会は、テレビジョン照明部門と、劇場舞台照明部門とに区分し、前者には松崎国雄、和田光弘、土

村昌、山下俊弘の諸氏を、

又後者には遠山静雄、小川

昇、篠木佐夫、大庭三郎、

秋山易三の諸氏を委員に選定する。

右の決定に基づき、各委員は夫々分担項目の調査研究に活動を開始して居る。然し何分にも各委員とも身辺多忙のため、集会も仲々に任せない状態ながら、近く寸暇を割いて蒐集した結果を持寄り結論を得て、可及的速やかに日本照明委員会に回答の日を期して居る。

回答のあかつきは、纏て号を追うて会報紙上に発表し、大方諸賢の参考資料の一端とも願ひ、又批判も仰ぎたいと願うものである。

(事務局)

総会に付いて
お知らせ

週日十六日、理事会を開催致しまして、第二回目の総会を来る四月十日ごろに開催致したく準備致して居ります。其の節は場所、時間等のお通知を致します。依つて万端くりあわせられて、御出席下されん事をお願い致します。

(事務局)

▲ 芸能通信 ▼

●久保田耕一氏 (会長令息)

二月二十日死去

告別式二月二十三日午後一時より、本郷喜福寺に於て行はれた。協会として、心から故人の冥福を祈つて花環を靈前に備えた。

●西崎 緑さん

二月十九日、東大病院にて永眠された。

告別式は二月二十六日、青山斎場に於て日本舞踊協会葬として挙行せられ、当協会は、哀悼の意を表して、生花を靈前にそなえた。



昨秋多年懸案の舞台照明家協会の創立に関し発起人諸氏の御努力を感謝致します。
 扱て将来、協会の発展は常任理事諸氏の犠牲的な努力の蓄積に依つてのみ可能であると存じます。各人それぞれ多忙の日常と存じますが、一層の積極的な熱意を期待致します。
 それに依り、昨秋決議された諸目的も逐次具体化していく事と存じます。
 (沼田勝夫)

照明日録

- 【一月】
- 2-27 歌舞伎座、吉猿合同、桐一葉(相馬清恒)
 - 2-26 明治座、新派、おたかの祝言(篠木佐夫)、明日の幸福(篠木佐夫)、俺は藤吉郎(落合勝造)、黄金(篠木佐夫)、おさん茂兵エ(篠木佐夫)
 - 2-23 新橋演舞場、菊郎劇団、赤西蠣太(篠木佐夫)
 - 4-2-11 俳優座劇場、俳優座、タルチニフ(穴沢喜美男)
 - 5-23 東横ホール、文学座、思い出を売る男(篠原久)、二号(穴沢喜美男)、大寺学校(穴沢喜美男)、華々しき一族(穴沢喜美男)
 - 6-26 東横ホール、仲間、かくや姫(原英一)
 - 4-17 一ツ橋講堂、演出劇場、火の柱(穴沢喜美男)
 - 8-16 神戸新聞会館、前進座、三年寝太郎(滝尾輝雄)、友禅女房(滝尾輝雄)
 - 19-24 一ツ橋講堂、ブーク、人形劇コンサート(滝尾輝雄)
- 【二月】
- 30-2-4 千代田公会堂、葦の会、廿日鼠と人間と(穴沢喜美男)
 - 26-31 一ツ橋講堂、泉座、古水は解けて(原英一)
 - 28-30 ヴァイデオホール、制作集団スカパンの悪だくみ(原英一)
 - 30-2-27 明治座、新国劇、ドヤ街(篠木佐夫)、百太郎騒ぎ(小川昇)、穂高小川昇、丸橋忠弥(落合勝造)
 - 2-25 歌舞伎座、吉猿合同、静(相馬清恒)
 - 5-25 東横ホール、菊五郎劇団若手、犬(篠木佐夫)
 - 5-10 一ツ橋講堂、稲の会、雷雨(篠原久)
 - 6-28 新橋演舞場、新派、めでたい座敷(二瓶正吉)、洗れる(篠木佐夫)、お富の貞操(篠木佐夫)、春を待つ女たち(柴山隆郎)、明石の姫(藤政雄)
 - 14-24 俳優座劇場、仲間、黒いペエール(滝尾輝雄)
 - 19-24 一ツ橋講堂、民芸、御料車物語(穴沢喜美男)

- 【三月】
- 1-10 大和証券ホール、劇団四季ひばり(吉井澄雄)
 - 2-27 新橋演舞場、新国劇、王将(小川昇)、牧野富太郎(小川昇)、大菩薩峠(斎藤政雄)
 - 2-8 千代田公会堂、新協劇団、すばらしき贈物(滝尾輝雄)
 - 3 東横ホール、舞踊劇場、山之神縁起(滝尾輝雄)、どんじやが田中恒雄、街二下リタ天狗(篠原久)
 - 3-27 大阪歌舞伎座、新派、太夫さん(篠木佐夫)、近松物語(篠木佐夫)
 - 5-27 大阪中座、関西歌舞伎、刃城の人(篠木佐夫)
 - 4-23 第一生命ホール、文学座、ブルタニキヌス(穴沢喜美男)
 - 8-31 俳優座劇場、新演劇研究所、持つといふこと(原英一)
 - 29 座経ホール、民芸、セールのスマンの死(穴沢喜美男)
 - 9-1 日劇、NDT春のおどり(大庭三郎)
 - 15-六月上 国際劇場、東京おどり(山本順三)
 - 7-9 国鉄労働会館、青年座、波の女、怪しき村の旅人(吉田豊)

以上は、調査の不備で相当に脱落がありますが、今後は各人が事務局宛に御報告下されれば幸甚と存じます。

皆様方の御協力により、会報第一号を発売致すはこびと相成りました。今後は尙一そう充実した内容のもとに、会員各位の御投稿記事を加えて充実した私等の会報に致したく、お気付の点や、御意見御希望等の御投稿をお願い致します。(二〇〇字四枚程度)。

事務局往来

総会に於て維持会費一口千円におちついたのであるが、いざ各プロックに分たんして交渉の結果、維持会員になられるべき各位の心境として一口三百円が妥当ではないだろうか。其の上にて口数を多くした方が、運営其の他容易ならしむるのではないかと思ふ。
 右について私は提案する。
 (相馬清恒)



カット 渡部 益太郎

維持会員の件